

平成30年度県政推進指針のポイント

1 基本的な方向性

<現状と課題>

7月の九州北部豪雨及び9月の台風第18号災害からの復旧・復興に向けては、被災市と連携し、現場に応じた具体的な取組をまとめた「復旧・復興推進計画」等に基づき取り組んでいる。

一方、国内景気は6四半期連続のプラス成長となり順調に回復する中、県内も緩やかながら回復基調にあり、この動きを着実に進めていく必要がある。

景気回復とともに当面、人手不足が大きな課題となっており、働き方改革による魅力ある職場づくりと併せて、若者、女性、シニア層を中心に県内就労の拡大策を講じることが大事である。

こうして当面の課題に対応しながら、まち・ひと・しごと創生—地方創生を目指して、「安心・活力・発展」の大分県づくりを加速していく必要がある。

<基本方針>

まずは、災害からの復旧・復興に努めるとともに、南海トラフ巨大地震への備えなど、「防災力」を強化・充実させる。当面の景気回復と人手不足に両らみで対応しながら、大分県版地方創生の道筋をつけるべく「安心・活力・発展プラン2015」を着実に推進する。地方創生を強力に後押しする国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭や世界温泉地サミットの成功を図り、ラグビーワールドカップ2019の準備を急ぐ。

2 新規又は拡充の取組等

【安心】

- 子育て満足度日本一の実現
 - ・保育所整備の推進等による平成30年4月の待機児童ゼロの実現と維持・継続や放課後児童クラブの拡充
 - ・子どもの居場所づくり、出会いから育児までの切れ目ない支援
- 健康寿命日本一の実現
 - ・健康経営事業所支援体制の強化、野菜摂取の推進
 - ・医療と介護の切れ目のない提供体制の構築
- 障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進
 - ・精神障がい者、発達障がい者の採用企業に対する支援
 - ・共同受注・共同販売体制の強化
- おおいとうつくし作戦の推進
 - ・祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク、姫島、豊後大野両ジオパークの情報発信強化と利活用の促進
- 安全・安心な暮らしの確立
 - ・特殊詐欺防止対策や安全で快適に行動できる交通環境の整備推進
 - ・犯罪被害者への県民理解の増進と支援体制の強化、経済的支援の充実
- 地域社会の再構築
 - ・ネットワーク・コミュニティの自立に向けた協議会の立上げ、研修等の支援
- 災害に強い社会づくりと県土の強靱化による防災力の強化
 - ・新防災システムの整備、市町村防災体制強化への支援、地域防災力の強化
 - ・頻発する豪雨に備えた治水・土砂災害対策の強化
- 移住・定住の促進
 - ・東京、大阪、福岡などエリア毎の特徴に応じた情報発信、移住体験の充実等

【活力】

- 農林水産業の構造改革の加速
 - ・水田の畑地化による園芸品目への転換促進や新規就農者向け農地の先行確保
 - ・果樹団地のリース化等による初期投資低減やICTの活用による経営力強化
 - ・県オリジナルいちご品種「大分6号」のブランド化に向けた戦略的展開
 - ・全国和牛能力共進会日本一を契機とした県産畜産物のブランド力の強化
 - ・海外の大口ニーズに対応した養殖ブリ類の生産加工体制の強化
 - ・県域就農学校の新設や給付金制度等の充実による新規就農者の確保・育成
 - ・一貫造林等に取り組む事業体の育成による主伐と再造林の一体的な推進

- 多様な仕事を創出する産業の振興と人材の確保
 - ・小規模事業者の持続的な発展に向けた支援強化
 - ・事業者寄り添った伴走型支援を行う商工団体の体制強化
 - ・大分コンビナートの国際競争力強化に向けた取組の推進
 - ・IoTやドローン等の活用による地域課題解決の取組等、「OITA4.0」のプレゼンスを高める重点プロジェクト（姫島ITアイランド構想等）の創出と全国展開
 - ・企業誘致が少ない地域への立地促進に向けた戦略的な企業誘致の推進
 - ・働き方改革と県内就職18,500人確保に向けた人手不足対策の推進強化
- 女性の活躍推進
 - ・就労促進のための動機付けセミナーの実施、在宅ワークのチャレンジ支援
- 人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進
 - ・六郷満山開山1300年キャンペーンの実施、誘客、受入態勢整備
 - ・世界温泉地サミットの成功
 - ・ラグビーワールドカップ2019本県試合国へのプロモーションと欧米豪・アジア（香港・シンガポール等）への情報発信強化・誘客促進
 - ・欧米豪等からの観光客ニーズの調査研究と受入態勢整備
- 海外戦略の推進
 - ・県内大学と連携し、留学生OBネットワーク等を活用した観光や物産、海外ビジネス展開への支援
 - ・留学生の県内定着に向けた経済団体との連携
- 活力みなぎる地域づくりの推進
 - ・世界遺産やユネスコエコパークなどの世界ブランドや国宝などのナショナルブランドを生かした交流人口を呼び込む地域づくりの促進

【発展】

- 「教育県大分」の創造
 - ・新学習指導要領の実施に向けた着実な対応と授業改善の推進
 - ・専門スタッフ等を活用した大分県版「チーム学校」の取組による働き方改革の推進
 - ・特別支援教育の質の向上と特別支援学校の再編整備
 - ・私立学校における魅力ある学校づくり等の取組支援と保護者の負担軽減
- 芸術文化による創造県おおいの推進
 - ・国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の成功
 - ・第20回記念別府アルゲリッチ音楽祭の成功
- スポーツの振興
 - ・ラグビーワールドカップ2019の成功に向けた各種取組
- 交通ネットワークの充実等
 - ・広域道路ネットワークの整備や港湾機能の強化など「九州の東の玄関口」としての拠点化推進
 - ・大分空港ターミナルビルの機能強化、国際航空路線の充実

【地方創生】

「安心・活力・発展」の中から地方創生につながる内容を次の4つの視点でまとめ、「まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略」に基づき取組を加速させる。

- 人を大事にし、人を育てる
- 地域を守り、地域を活性化する
- 仕事をつくり、仕事を呼ぶ
- 基盤を整え、発展を支える

3 予算特別枠「創生前進枠」

本県の中長期的な発展を図るためには「安心・活力・発展プラン2015」を着実に推進し、地方創生をさらに前に進めることが大事である。このため、予算特別枠「創生前進枠」を設け、「安心・活力・発展」について、意欲的な政策投入を行うとともに、これらを通じて地方創生を前進させていく。